

川越北小学校洋式トイレ化工事

図 面 リ ス ト					
意匠図		電気設備図		機械設備図	
	表紙・図面目録				
T-01	改修特記仕様書（1）	E-01	特記仕様書（電気設備の部）（川越北小学校）	M-01	特記仕様書 1（機械設備の部）（川越北小学校）
T-02	改修特記仕様書（2）	E-02	コンセント設備 1 階平面図（改修前・改修後）（川越北小学校）	M-02	特記仕様書 2（機械設備の部）（川越北小学校）
T-03	改修特記仕様書（3）	E-03	コンセント設備 2 階平面図（改修前・改修後）（川越北小学校）	M-03	1 階平面図（川越北小学校）
T-04	改修特記仕様書（4）	E-04	コンセント設備 3 階平面図（改修前・改修後）（川越北小学校）	M-04	2 階平面図（川越北小学校）
T-05	改修特記仕様書（5）			M-05	3 階平面図（川越北小学校）
T-06	改修特記仕様書（6）			M-06	南棟 1 ～ 3 階生使用西便所衛生器具改修図（川越北小学校）
T-07	改修特記仕様書（7）			M-07	南棟 1 ～ 3 階生使用東便所衛生器具改修図（川越北小学校）
T-08	改修特記仕様書（8）			M-08	北棟 1 階生使用便所衛生器具改修図（川越北小学校）
A-01	付近見取図・配置図			M-09	南棟 2 階職員便所衛生器具改修図（川越北小学校）
A-02	1 階平面図			M-10	北棟 2 、 3 階生徒用便所衛生器具改修図（川越北小学校）
A-03	2 階平面図			M-11	雑詳細図（参考図）（川越南小学校）
A-04	3 階平面図				
A-05	南棟 1 ～ 3 階 生徒用西便所 平面図				
A-06	南棟 1 ～ 3 階 生徒用東便所 平面図				
A-07	南棟 2 階 職員便所 平面図				
A-08	北棟 1 階 生徒用便所 平面図				
A-09	北棟 2 、 3 階 生徒用便所 平面図				
A-10	建具表				
A-11	外部仮設計画図				
A-12	内部仮設計画図（1）				
A-13	内部仮設計画図（2）				
A-14	内部仮設計画図（3）				

5

18 ガラス

フロート板ガラス

品種及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

型板ガラス

厚さによる種類

※建具表による

網入板ガラス及び網入板ガラス

網又は網の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類

※建具表による

合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ

※建具表による

形状による種類

・平面合わせガラス

・曲面合わせガラス

落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類

・Ⅰ類

・Ⅱ－Ⅰ類

・Ⅱ－Ⅱ類

・Ⅲ類

強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称

※建具表による

破片の状況及びショットバック衝撃特性による種類

・Ⅰ類

・Ⅲ類

熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類、厚さによる種類

※建具表による

性能による種類

・Ⅰ種

・Ⅱ種

複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

※建具表による

断熱性による区分

・Ⅰ

・Ⅱ

・Ⅲ

・Ⅳ

・Ⅴ

・Ⅵ

日射取得性、日射遮蔽性による区分

・Ⅰ

・Ⅱ

・Ⅲ

・Ⅳ

・Ⅴ

・Ⅵ

乾燥気体の種類

・空気

・アルゴン

熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

日射熱遮へい性による区分

・Ⅰ種

・Ⅱ種

・Ⅲ種

耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分がⅡ種の場合）

・Ⅰ類

・Ⅱ類

映像調整

・行わない

・行う

倍強度ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示

[5.13.5]

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm)	伸縮調整	防火性能
・正方形	・125×125	・80	・乳白	・平種	・目地位置(mm)	・性能
	・160×160	・95	・125	・外側	※8～15	※無し
				・内側	※15以下	・有り
	・200×200	・95	・125		※6以上	・図示
・長方形	・320×320	・95	・			
	・250×125	・80	・			
	・320×160	・95	・			

20 ガラス用フィルム

種 類	記号	性 能 等
・日射調整フィルム	・SC－1	・SC－2
・低放射フィルム	・LE	
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI－1	・GI－2
品質	JIS A 5759	による。

6

内装改修工事

① 改修範囲

[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※壁厚程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う

・図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上に準じた仕上げを行う

・図示

既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修

※既存のまま

・図示

[6.2.2]

ビニルシート、タイル等の除去

※仕上材のみ（接着剤とも）

② 下地モルタルとも

③ 図示の範囲

・除去範囲全て

合成樹脂塗床材の除去工法

・機械的除去工法

・目張り工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。

改修後の床の清掃範囲

※図示

[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の処置

※図示）

[6.5.1]

4 木下地等の表面仕上げ

5 製材

② 既存床の撤去及び下地補修

3 既存壁の撤去及び下地補修

6 造作用集成材

③ 図示の範囲

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※Ⅱ級		※A種・B種		・
			※Ⅲ級		※A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			※上小節		※A種・B種		・
見え掛り面以外			※小節以上		※A種・B種		・

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※Ⅰ等		※10%以下	・A種・B種	・
			※Ⅱ等		※10%以下	・A種・B種	・

・「製材の日本農林規格」以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
			（造作材の場合） （※A種・B種）	・適用する	※A種・B種	・
			（造作材の場合） （※A種・B種）	・適用しない	・	・

ホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

[6.5.2]

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用
			※Ⅰ等・Ⅱ等	・	・
			※Ⅲ等・Ⅳ等	・	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※Ⅰ等・Ⅱ等	・
				※Ⅲ等・Ⅳ等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・
				※15%以下	・

7

造作用単板積層材

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・	・
				※15%以下	・	・

ホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

[6.6.2]

・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（天然木加工・塗装加工）	・適用する	・
		・無し（	・適用しない	・
		・有り（天然木加工・塗装加工）	・適用する	・
		・無し（	・適用しない	・

・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（天然木加工・塗装加工）	※14%以下	・適用する	・
		・無し（	・	・適用しない	・
		・有り（天然木加工・塗装加工）	※14%以下	・適用する	・
		・無し（	・	・適用しない	・

・CLT（直交集成材）

施工箇所	品名	曲げ性能（強度等級）	接合性能（使用環境）	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
						・
						・

ホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

[6.5.2]

・普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5		※Ⅰ種・Ⅱ種	・広葉樹 ・針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※Ⅱ級以上		※Ⅰ種・特種	※Ⅱ級以上	※12	・適用する ・適用しない	・	・
	※Ⅰ級							

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・Ⅰ種・特種		・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接合の程度	防虫処理の適用
			・Ⅰ種・Ⅱ種	・適用する（

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接合の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・Ⅰ種・Ⅱ種			・適用する（	・

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状況による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性	厚さ(mm)
		※Ⅲタイプ	※P又はM		※15

9

接着剤

[6.5.3、4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4、5]

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。

ホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

・図示

10 防霉・防蟻処理

[6.5.5]

・防霉、防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位（

・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分		
	・K2	・K3	・K4

・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※改修標準仕様書6.6.5 (1) (b) ② 7～11による	※JIS A 1571に適合又は同等品

・薬剤の接着剤への混入による防霉、防蟻処理

適用部位（

[6.6.2～4]

① 軽鋼鉄骨天井下地

野縁等の種類

屋外

※25形

・19形

屋内

※9形

・25形

・屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる（Ⅰ・Ⅰ.15・Ⅰ.3）の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔

・図示

周辺部の端からの間隔

・図示

野縁の間隔

・図示

既存の埋込みインサート

○使用する

・使用しない

あと施工アンカーの確認試験

・行う

箇所数

※屋内の場合、当該階において3箇所

確認強度

※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m2 以内の天井の場合、400N程度

・行わない

・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法

※図示

・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法

※改修標準仕様書6.6.4(8)による

・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法

※図示

・天井の下地材における耐震性を考慮した補強

補強面所

※図示

補強方法

※図示

[6.7.3] [表6.7.1]

スタッド、ランナーの種類

※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

・図示

スタッドの高さが5.0mを超える場合

※図示

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

※改修標準仕様書6.7.4(5)による

・図示

[6.8.2、3]

12 軽鋼鉄骨壁下地

13 ビニル床シート

[6.8.2、3]

14 ビニル床タイル

[6.8.2]

種類の記号	色 柄	厚さ(mm)
※FS	・無地	※2.0
・	・マーブル柄	・
・	・柄物	・

目地処理する場合の工法

※熱溶接工法

・

月 日

月 日

株式会社 市川三千男総合設計

三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659

一級建築士 第 93977号 市川 司

設計

一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号

縮 尺

川越北小学校洋式トイレ化工事

NO. T — 04

年 月 日

A1 ~

A3 ~

改修特記仕様書（4）

08

6

内装改修工事

15

特殊機能床

[6. 8. 2]

・帯電防止床シート
種類（ ）
性能（ ）
厚さ（ ）mm

・帯電防止床タイル
種類（ ）
性能（ ）
寸法（ ）×（ ）mm 厚さ（ ）mm

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類（ ）
形状（ ）

・耐動荷重性床シート
種類（ ）
厚さ（ ）mm

・防滑性床シート
種類（ ）
厚さ（ ）mm

・防滑性床タイル
種類（ ）
寸法（ ）×（ ）mm 厚さ（ ）mm

材質の種類 ・軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ・100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

種類 ・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ ）

・繊維じゅうたん

織り方

バイル形状

・ウイルトンカーベット
・ダブルフェスカーベット
・アキスミンスターカーベット

・カットバイル
・ループバイル
・カット/ループバイル

色柄（ ） ※模様のない無地）
バイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種類（ ・A種 ・B種 ・C種 ）
・
帯電性 ・適用する ・適用しない
繊維じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm ・

・タフテッドカーベット

バイル形状

バイル長さ（mm）

工 法

帯電性

・カットバイル

・5～7 ・

・全面接着工法

・適用する

・ループバイル

・4～6 ・

・グリップ工法

・適用しない

・カット、ループ併用

・

下敷き材（グリップ工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・

・ニードルパンチカーベット
厚さ（mm）（ ）
帯電性 ・適用する ・適用しない

・タイルカーベット

バイルの形状

種 類

施工箇所

寸 法

総厚さ（mm）

※ループバイル

※第一種
・第二種

※500×500
・

※ 6. 5
・

・カットバイル

・第一種
・第二種

※500×500
・

※ 6. 5
・

・カット・ループ併用

・第一種
・第二種

※500×500
・

※ 6. 5
・

タイルカーベットの敷き方
平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等 ※図示 ・

16

ビニル幅木

[6. 8. 2]

17

ゴム床タイル

[6. 8. 2]

18

カーベット敷き

[6. 9. 2、3] [表6. 9. 1]

19

合成樹脂塗床

[6. 10. 2～3]

6

内装改修工事

20

フローリング張り

[6. 11. 2～6]

・単層フローリング（フローリングボード1等）
工法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種 ※なら ・
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種 ・
厚さ ・
大きさ ・
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

・複合フローリング
工法 ・釘留め工法（ ・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種 ※なら ・
種別 ・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用 ・適用する ・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・
接着工法の場合の表面繊維材 ※合成樹脂発泡シート
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（畳床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N ）
下地の種類 ・標準仕様書 表12. 6. 1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発散しない
が、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

[6. 13. 2、3]
合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
・木質系セメント板 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・繊維板 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・パーティクルボード 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・吸音材料 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・せっこうボード 種類・厚さ（ ※図示 ・ ）
・普通合板 表板の樹種名 ・
板面の品質 ・
厚さ ※図示 ・
接着の程度 ・1類 ・2類
防虫処理 ・行う ・行わない
・天然木化粧合板 化粧板の樹種名 ・
厚さ ※図示 ・
接着の程度 ・1類 ・2類
防虫処理 ・行う ・行わない
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法（ ・オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・ ）
表面性能 ・
厚さ ※図示 ・
接着の程度 ・1類 ・2類
防虫処理 ・行う ・行わない
ケイ酸カルシウム板 種類・厚さ（ ※タイプ2（無石綿） ※厚6. 0mm ）
せっこうボード等の下地 ※図示
遮音シール材 ・適用する（ ・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド ）
・適用しない
合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボード等の目地工法 目地し貼り ・

21

畳敷き

[6. 12. 2]

22

せっこうボード
その他のボード
及び合板張り

[6. 13. 2、3]

23

壁紙張り

[6. 14. 2～3]

24

天井見切り縁

[6. 15. 3、5、6]

25

モルタル塗り

[6. 15. 3、5、6]

6

内装改修工事

26

タイル張り

[6. 16. 2～4]

伸縮調整目地の位置 床タイル（ ※縦、横とも4m以内ごと ・図示 ）
床タイル以外（ ・図示 ・ ）
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所

形状寸法（mm）

再生材料の適用

吸水率による区分

うわぐすり

役物

色

耐凍害性

耐滑り性

備考

便所 床

100角

・

・

・

・

○

・

○

・

・

・

・

・

・

・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本張り ・行う ・行わない

既製適合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、
細骨材、遅和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
品質・性能 建築材料等品質性能表による
試験方法 建築材料等品質性能表による

・既製適合目地材
品質・性能 建築材料等品質性能表による
試験方法 建築材料等品質性能表による

・有機系接着剤による質タイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所

形状寸法（mm）

再生材料の適用

吸水率による区分

うわぐすり

役物

色

耐凍害性

耐滑り性

備考

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ・行わない
見本張り ・行う ・行わない

内装タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系
標準塗厚（mm） ・

27

セルフレベリング材
塗り

[6. 17. 2、3]

7

内装改修工事

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

3

錆止め塗料塗り

[7. 3. 2、3]

④

塗装

[7. 4. 2～7. 14. 2]

⑤

仕上げ

[7. 15. 2～7. 15. 3]

①

材料

[7. 1. 3]

②

下地調整

[7. 2. 1～7]

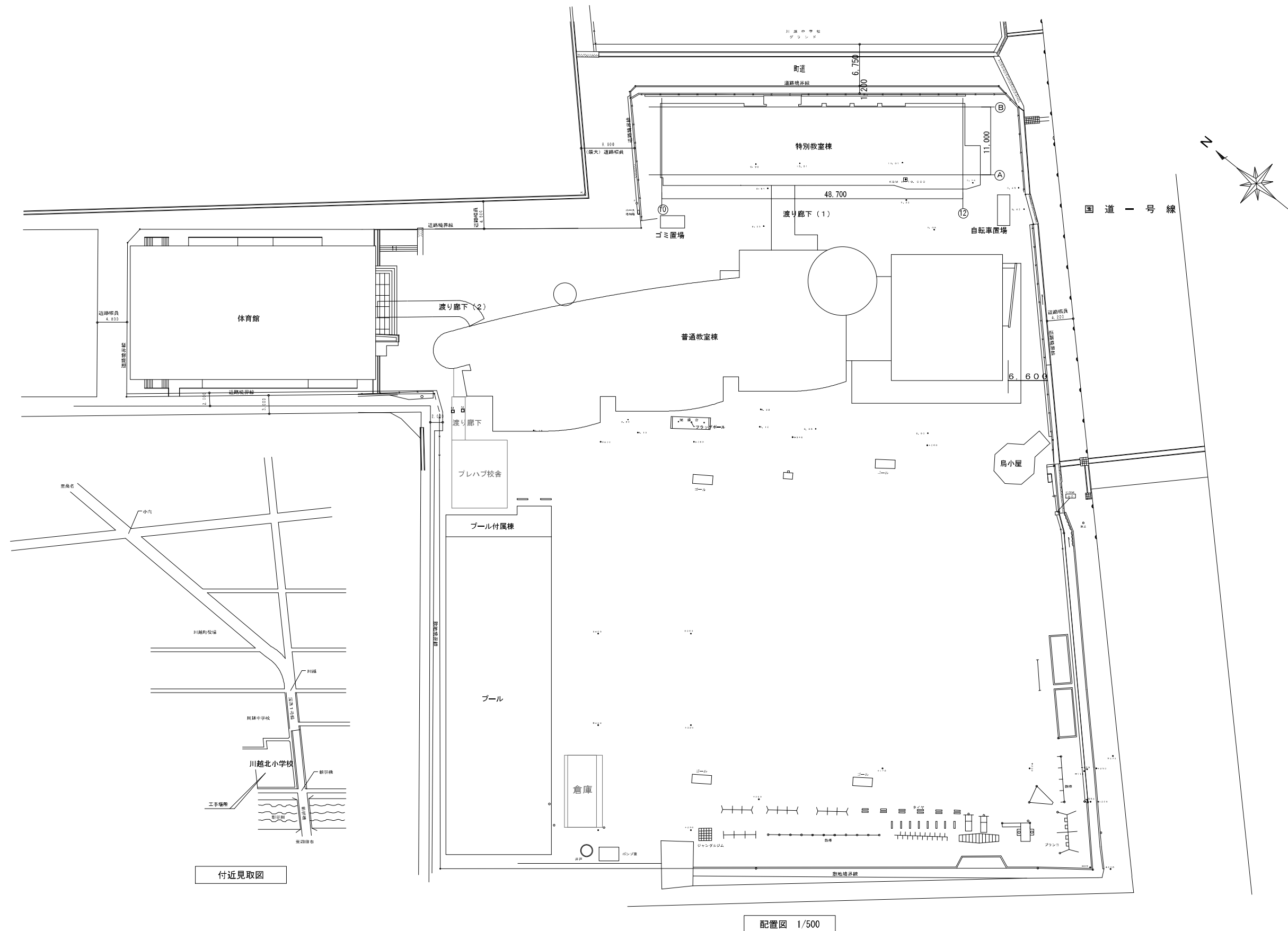
3

[illegible]

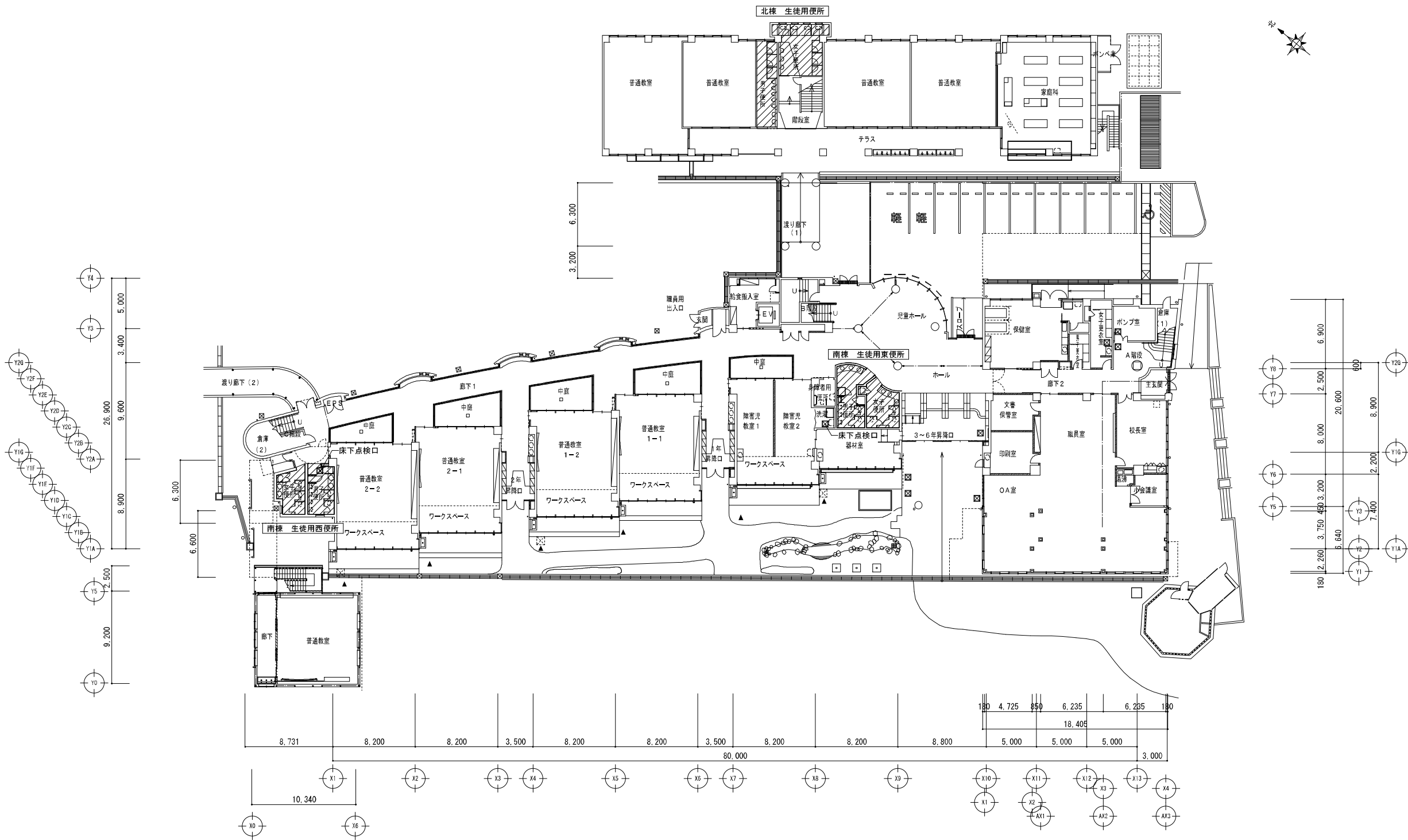
8 耐震 改修 工事	11 仮組	仮組を行う範囲 ・図示による（ ） ・	[8. 13. 10]	8 耐震 改修 工事	8-4 あと施工アンカー 工事 1 あと施工アンカー	[8. 2. 4]	8 耐震 改修 工事	8-6 連続繊維補強工事 1 連続繊維シート	[8. 2. 13][8. 24. 6]				
	12 増接技能者の技量 付加試験	試験の要領 ・図示による（ ） ・	[8. 15. 3]		材料等 ・金属系アンカー ・引張耐力 ・せん断耐力 ・アンカー本体の径及び埋込み長さ ・セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・接合部の種類、径、長さ ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による（ ） ・ ・接着系アンカー ・引張耐力 ・せん断耐力 ・アンカーの種類 ※ カプセル方式回転・打撃式 ・接着剤の品質 ・有機系 ・無機系 ・アンカー防の径及び埋込み長さ ・アンカー筋の種類 ・アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・図示による（ ） ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による（ ） ・	2 仕上げ		連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 引張強度（含浸硬化後） ・（ ）N/mm ² ・ヤング係数（含浸硬化後） ・（ ）N/mm ² ・ ・ ・下地処理 ・ひび割れ部改修 [8. 24. 7] ・範囲 ・図示による（ ） ・種類 ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・図示による（ ） ・ 連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※ JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による ・ ・試験数量 ・図示による（ ） ・ ・付着強度試験 ※ JIS A 6909（建築用仕上塗材）による ・ ・試験数量 ・図示による（ ） ・ 補強工事後の仕上げ ・図示による（ ） ・					
	13 増接接合	開先の形状 ・図示による（ ） ・ ・エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による（ ） ・ 切断範囲 ・ ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)②による ・ ・スカラップの形状 ・図示による（ ） ・	[8. 15. 4、7]		2 穿孔	埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探知機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ・		8-7 耐震スリット工事 1 スリットの方式、幅及び深さ	[8. 25. 2]				
	14 入熱、バス間温度 の溶接条件	鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ・図示による（ ） ・ ・適用箇所 ・図示による（ ） ・ ・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部	[8. 15. 12]		3 施工確認試験	試験方法 ※ 引張試験機による引張試験 確認強度 ・図示による（ ） ・		2 スリットの施工前 の埋込み配管等の 探査	[8. 12. 4]				
8 耐震 改修 工事	15 溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合わせ継手の食い違い仕口のすれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6〔鉄骨精度検査基準〕の付表3「溶接」に関する試験方法等 JASS 6 10.4〔受入検査〕e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。 ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工事現場溶接の場合 ※全数	[7. 3. 3] [8. 17. 2.、4]	8-5 グラウト工事 1 柱底均しモルタル及びグラウト材	[8. 2. 12]	3 スリットの充填材 の挿入及び 周囲補修等	[8. 25. 2]						
	16 錆止め塗装	塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による（ ） ・ 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示による（ ） ・ 塗料の種類 ・鉄鋼面の錆止め塗料の種類 ・屋外 ・A種 ・屋内 ・A種 ・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種類 ・ 塗料種類 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種類 ※A種 ・ ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・	[8. 18. 2～8]	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調査形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。	8-8 土工事及び 地業工事 ① 埋戻し及び盛土	[8. 28. 3]							
	17 耐火被覆	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) ・耐火材 ・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・ ・耐火板 ・繊維混入けい酸カルシウム板 ・ ・耐火材 ・高耐熱ロックウール ・ ・ラス張り ・ ・ラス張り ・モルタル塗り ・ ・耐火塗料 ・	[8. 18. 2～8]	コンクリートによる流下時間 凝混ぜ完了から3分以内の値 ： 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 ： 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 ： 1時間以上 終結時間 ： 10時間以内 無収縮性 材料 7日 収縮しない 圧縮強度 材料 3日 20.0N/mm ² 以上 材料 28日 40.0N/mm ² 以上 塩化物量 0.30%以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調査形で混和材が同一の試験の場合はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。	2 山留めの撤去	[8. 28. 3]							
	18 アンカーボルトの 設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による（ ） ・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による（ ） ・ 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による（ ） ・ 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類 厚さ ・ 種類 ※A ・	[7. 10. 3]	② 砂利地業	[8. 28. 3]								
8 耐震 改修 工事	19 鉄骨ブレース設置 後の仕上げ	・図示による（ ） ・	[8. 22. 9]	8-9 土工事及び 地業工事 ② 山留めの撤去	[8. 28. 3]	3 杭地業	[8. 2. 15][8. 28. 4] (4. 3. 8)						
				③ 砂利地業	[8. 2. 15][8. 28. 4] (4. 3. 8)	4 砂利地業	[8. 2. 15][8. 28. 4] (4. 3. 8)						
				5 捨コンクリート 地業	[8. 2. 15][8. 28. 4]	5 捨コンクリート 地業	[8. 2. 15][8. 28. 4]						
				6 床下防湿層 地業	(4. 6. 2) (4. 6. 5)	6 床下防湿層 地業	(4. 6. 2) (4. 6. 5)						

月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事	NO. T — 07 08
・	・		年 月 日	A1 ~	改修特記仕様書(7)		
・	・			A3 ~			

環境配慮改修工事	1 石綿含有建材の除去工事	施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲（ ・ ・ 図示 ） 貸与資料（ ・ ） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法	9 環境配慮改修工事	2 断熱アスファルト防水改修工事	改修特記仕様書 3 章による [9.2.2～3] [9.3.2～4]	9 環境配慮改修工事	6 透水性アスファルト舗装改修工事	[9.7.2～5、9]	20 ① トイレブース ユニット及びその他の工事	(20, 2, 5)	表面材の材質 ◎ 高圧メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 ・ 施ゆうセメント(酸アルカ)板 (品質・性能) ◎ 建築材料等品質性能表による。 ◎ ｈ' 材の主要構成基材は、JIS A 6512に基づく材料とする。 ◎ ｈ' 材材料の単位75㎡tの放散量 ◎ 規制対象外 ・ (試験方法) ◎ 建築材料等品質性能表による ◎ 開閉耐久性は、JIS A 4702(1'7ett)に基づく開閉繰返し試験に合格し、かつ、緩みのないものとする。		
				3 外断熱改修工事			断熱材 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ (mm) ・ 施工箇所 ・ 図示 ・ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 外装材 種類 防火性能 備考 鋼材 改修特記仕様書第 8 章 8-3 鉄骨工事 ・ 鋼材による 笠木 改修特記仕様書第 3 章 ・ アルミニウム製笠木による 既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第 4 章 外壁改修工事による ・ 工法 建築基準法に基づき定まる（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ） 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ 通気層の有無 ・ あり（ mm ） ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示 ・ 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第 3 章 アルミニウム笠木による 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具による 断熱性による区分 ・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T 6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン 上記以外は、改修特記仕様書 5 章 建具改修工事による					既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第 4 章 外壁改修工事による ・ 工法 建築基準法に基づき定まる（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ） 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ 通気層の有無 ・ あり（ mm ） ・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示 ・ 笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第 3 章 アルミニウム笠木による 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・ 建具による 断熱性による区分 ・ T 1 ・ T 2 ・ T 3 ・ T 4 ・ T 5 ・ T 6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン 上記以外は、改修特記仕様書 5 章 建具改修工事による	路床 路床の材料 種類 厚さ (mm) ・ 図示 ・ ・ 凍上抑制層 ・ 再生クラッシャーラン [G] ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ ・ フィルター層 ・ 砂 ・ 路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない 路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 ・ ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント B 種 [G] ・ フライアッシュセメント B 種 ・ 生石灰（ ・ 特号 ・ 1 号 ） ・ 消石灰（ ・ 特号 ・ 1 号 ） ・ 添加量 ・ kg（目標 C B R ・ 3 以上 ・ ） 目標 C B R を満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土の C B R 試験 ・ ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m2 以上 ・ 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 ・ 引張強さ ・ 98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10 ⁻⁷ cm/sec 以上 ・ 試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比（ C B R ）試験 ・ 行う ・ 行わない 現場 C B R 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固めの試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の厚さ ・ 図示 ・ 路盤材料 種類 砕石 ・ クラッシャーラン ・ 粒度調整砕石 再生材 ・ クラッシャーラン [G] ・ 粒度調整砕石 [G] ・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ [G] ・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G] 舗装の構成 ・ 図示 ・ 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・
				3 ガラス改修工事			4 断熱・防露改修工事					5 屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルサング材等 ※図示 ・ 品質・性能 工事建築材料等品質性能表による 試験方法 工事建築材料等品質性能表による 工法 建築基準法に基づき定まる（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ） 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ） 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の移植期間 ※引き渡しの日から 1 年 ・
				4 断熱・防露改修工事			5 屋上緑化改修工事					植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の種類等 ※図示 ・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルサング材等 ※図示 ・ 品質・性能 工事建築材料等品質性能表による 試験方法 工事建築材料等品質性能表による 工法 建築基準法に基づき定まる（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ） 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する（種類 ・ ） 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない 新植した芝及び地被類の移植期間 ※引き渡しの日から 1 年 ・	
月 日	月 日		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 ~ A3 ~	川越北小学校洋式トイレ化工事 改修特記仕様書（ 8 ）	NO. T - 08 08					



月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 啓之	整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事 付近見取り図、配置図	NO. A — 01 14
.	.			年 月 日	A1 1/500		
.	.				A3 1/1000		
.	.						

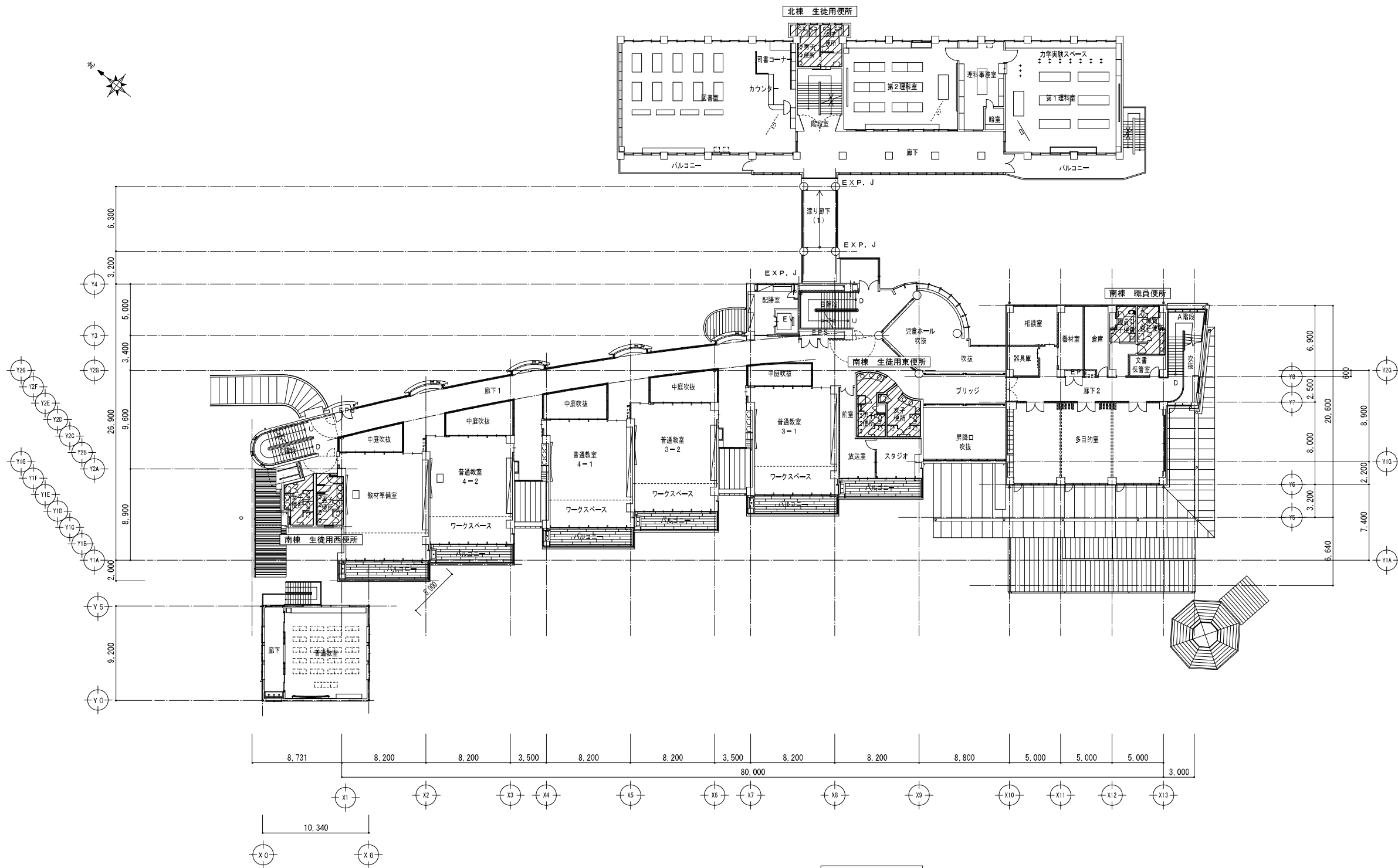


1 階平面図 1/200

凡 例

改修範囲を示す

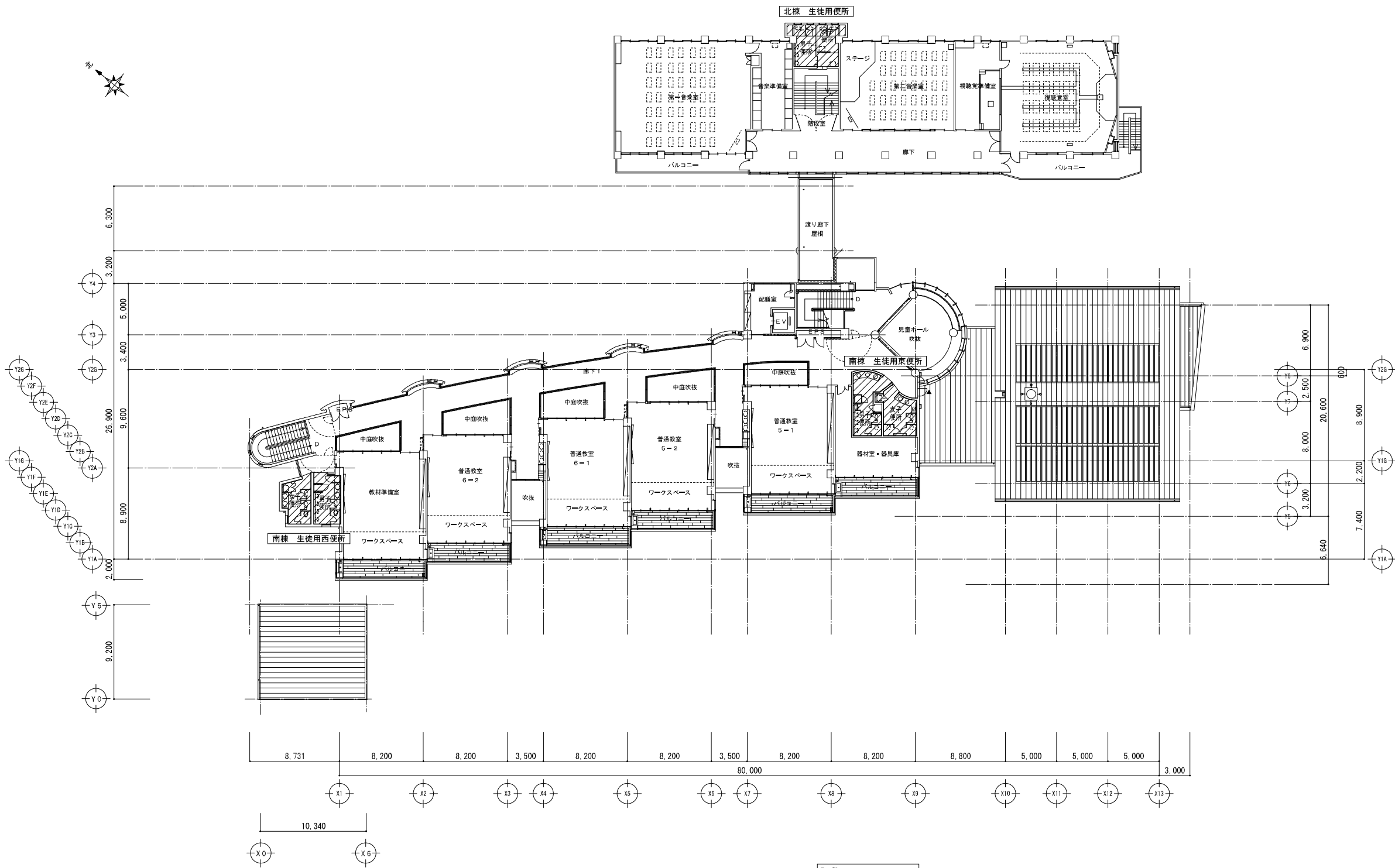
月・日	月・日		株式 会社	市川三千男総合設計	設 計	整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事	NO.
.	.		三重県津市栄町二丁目428番地	TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659	一級建築士 第266489号 山口 裕之	年 月 日	A1 1/200		A — 02
.	.		一級建築士 第 93977号 市川 司				A3 1/400	1 階平面図	14



2 階平面図 1/200

凡 例
改修範囲を示す

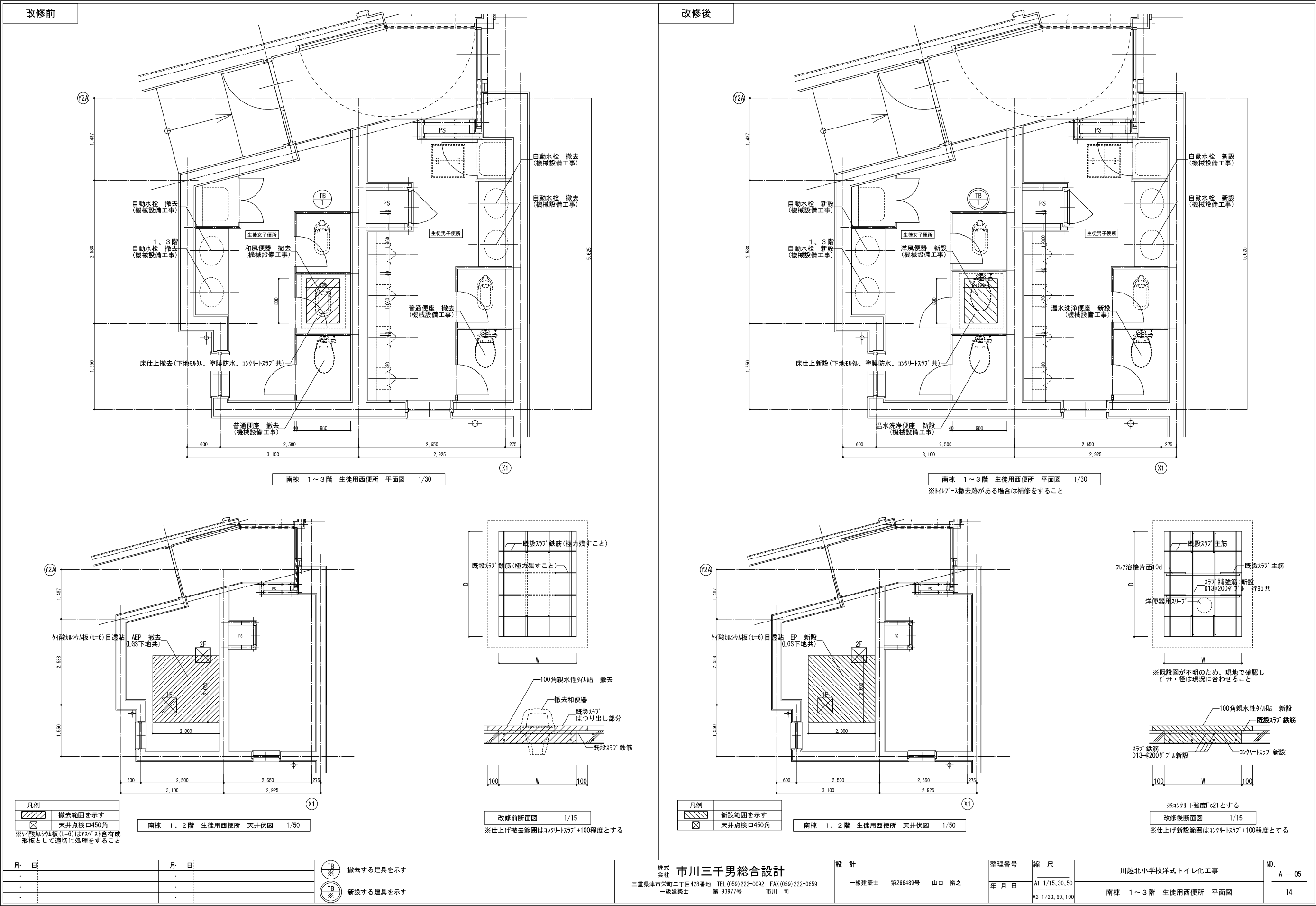
月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越北小学校洋式トイレ化工事 2 階平面図	NO. A — 03 14
-----	-----	--	-----------------------------	---------------	-----------------------------	--------------------------	---------------------



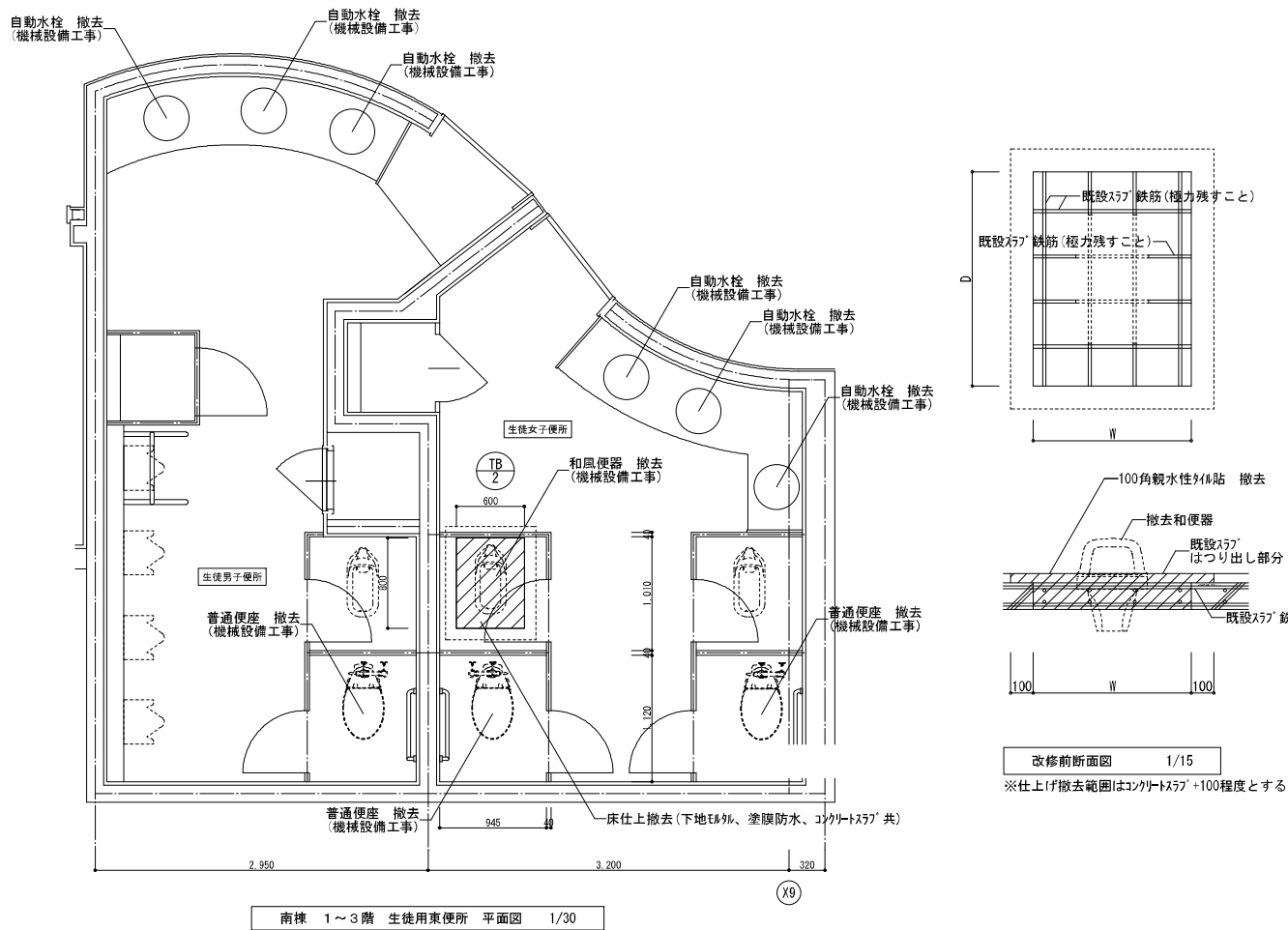
3階平面図 1/200

凡 例	
	改修範囲を示す

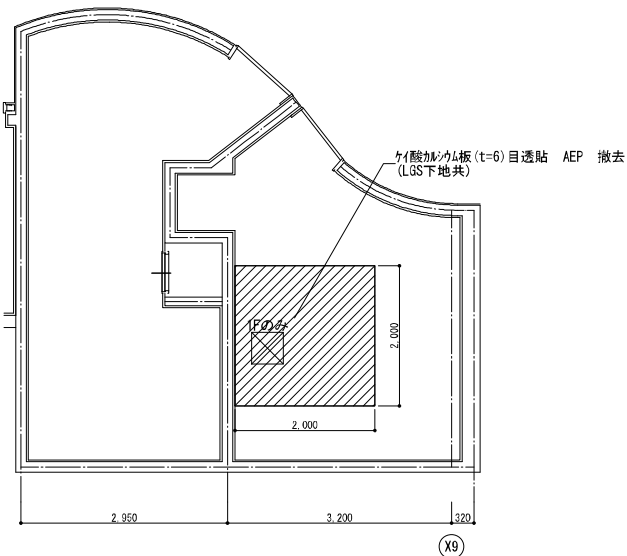
月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事 3階平面図	NO. A-04 14
.	.			年 月 日	A1 1/200		
.	.				A3 1/400		



改修前



南棟 1～3階 生徒用東便所 平面図 1/30

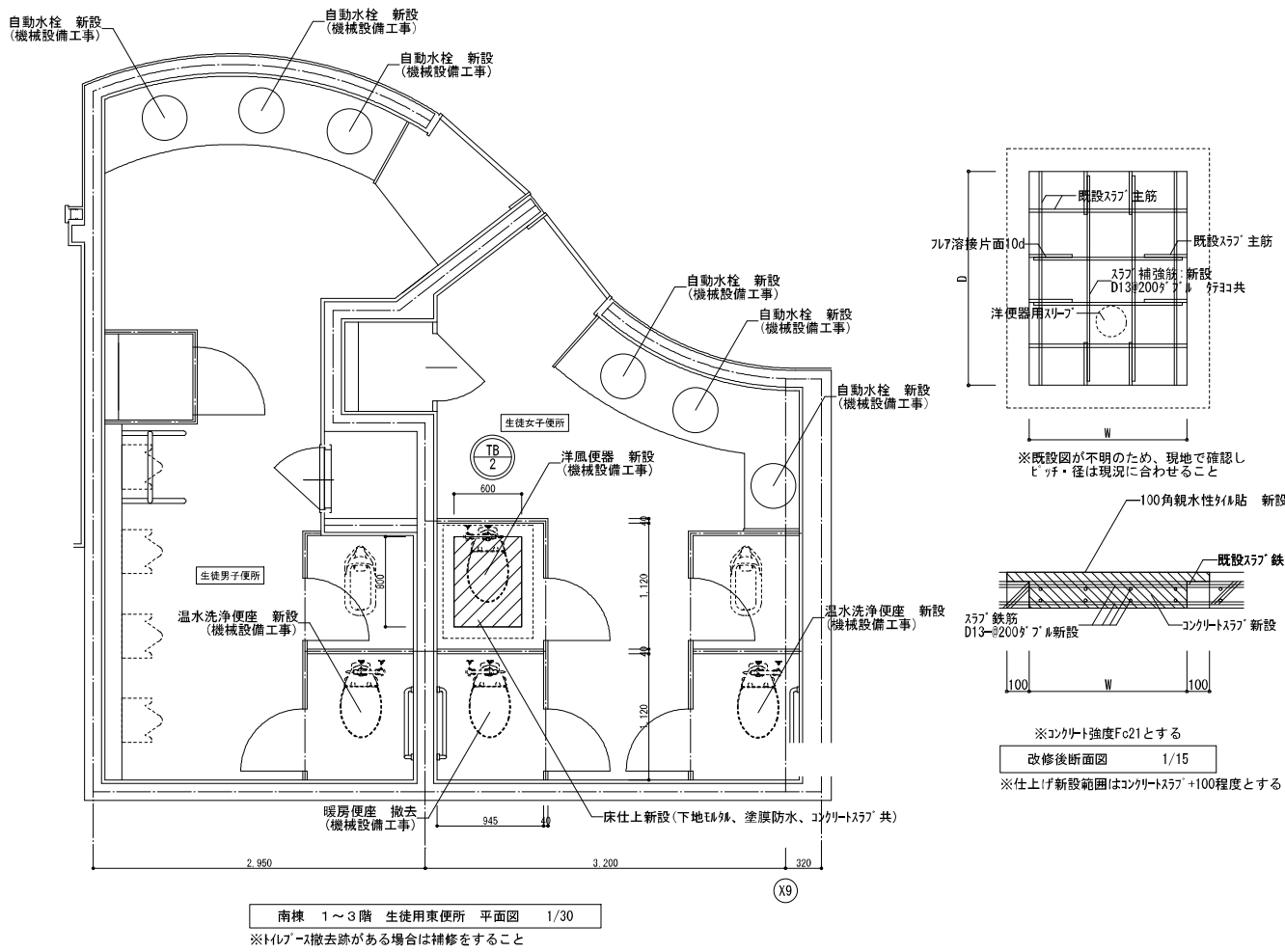


凡例	
	撤去範囲を示す
	天井点検口450角
※ケイ酸カルシウム板 (t=6) は72×61寸含有成形板として適切に処理をすること	

月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

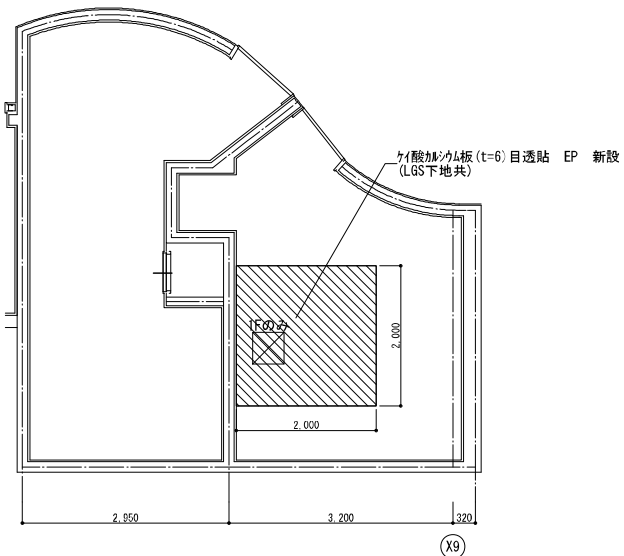
	撤去する建具を示す
	新設する建具を示す

改修後



南棟 1～3階 生徒用東便所 平面図 1/30

※トイレスラブ撤去跡がある場合は補修をすること



凡例	
	新設範囲を示す
	天井点検口450角

株式会社 市川三千男総合設計
三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第 93977号 市川 司

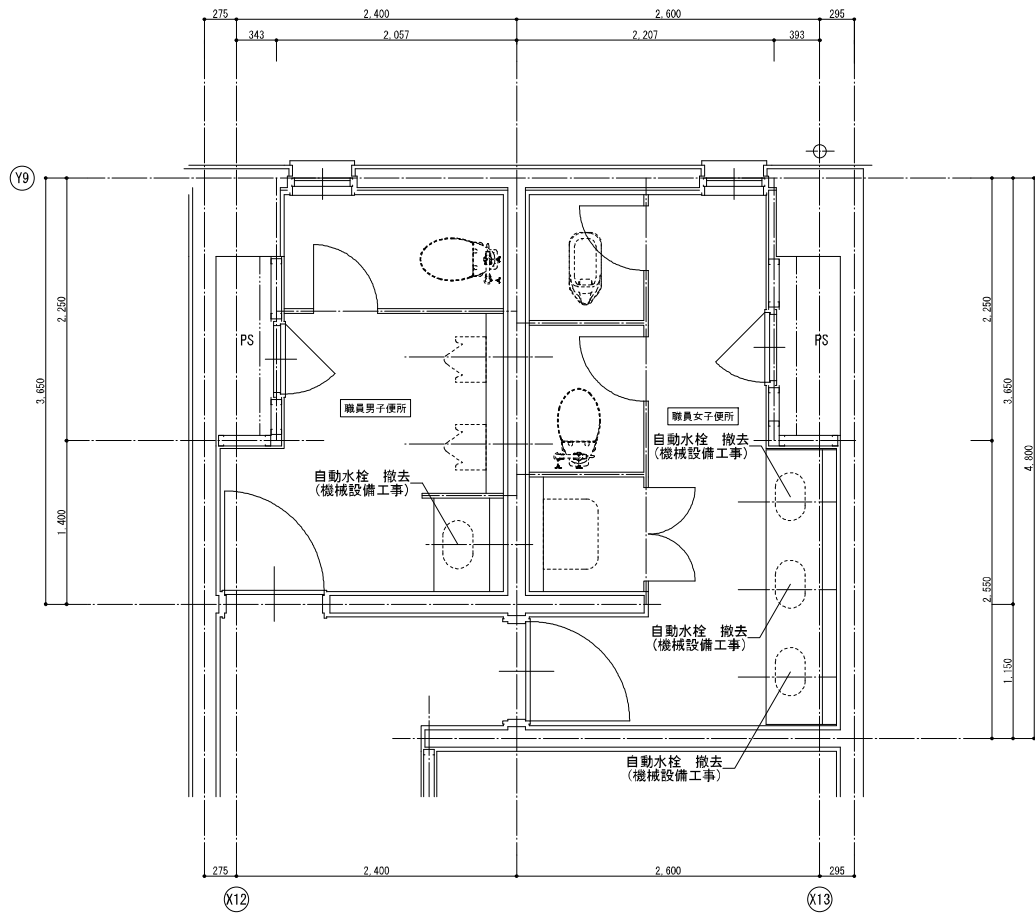
設計
一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号	縮尺
年月日	A1 1/15, 30, 50 A3 1/30, 60, 100

川越北小学校洋式トイレ化工事
南棟 1～3階 生徒用東便所 平面図

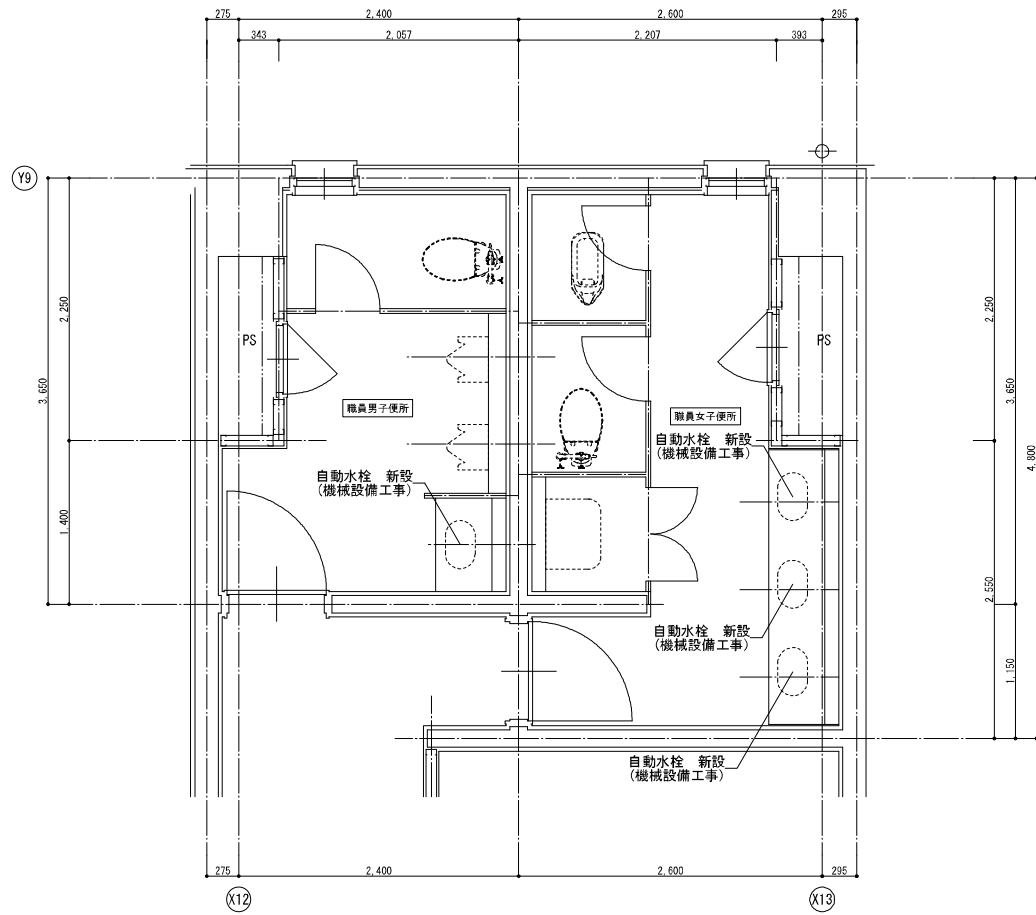
NO.
A-06
14

改修前



南棟 2階 職員便所 平面図 1/30

改修後



南棟 2階 職員便所 平面図 1/30

月・日	月・日
・	・
・	・
・	・

株式会社 市川三千男総合設計
三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659
一級建築士 第 93977号 市川 司

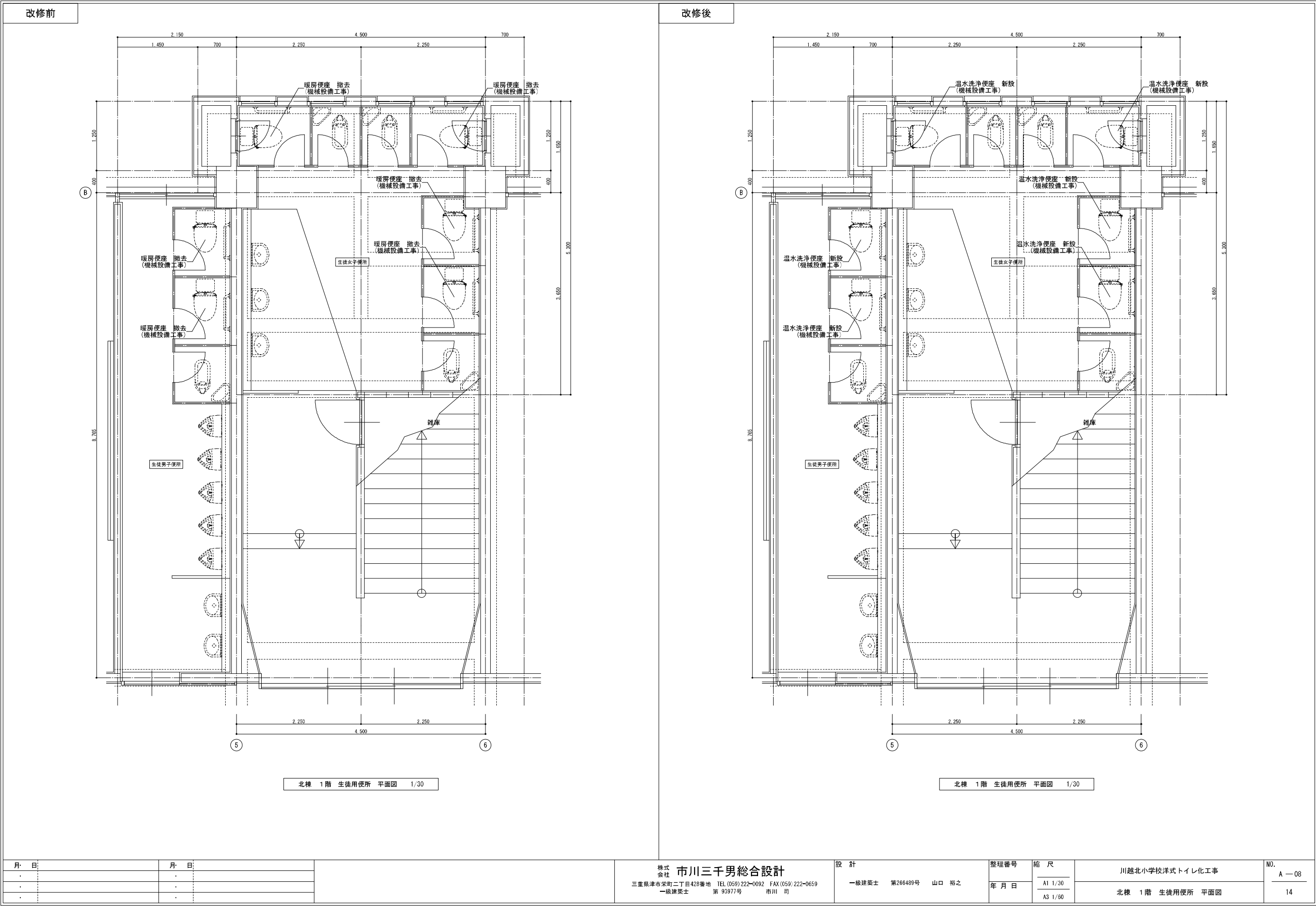
設計
一級建築士 第266489号 山口 裕之

整理番号	縮 尺
年 月 日	A1 1/30 A3 1/60

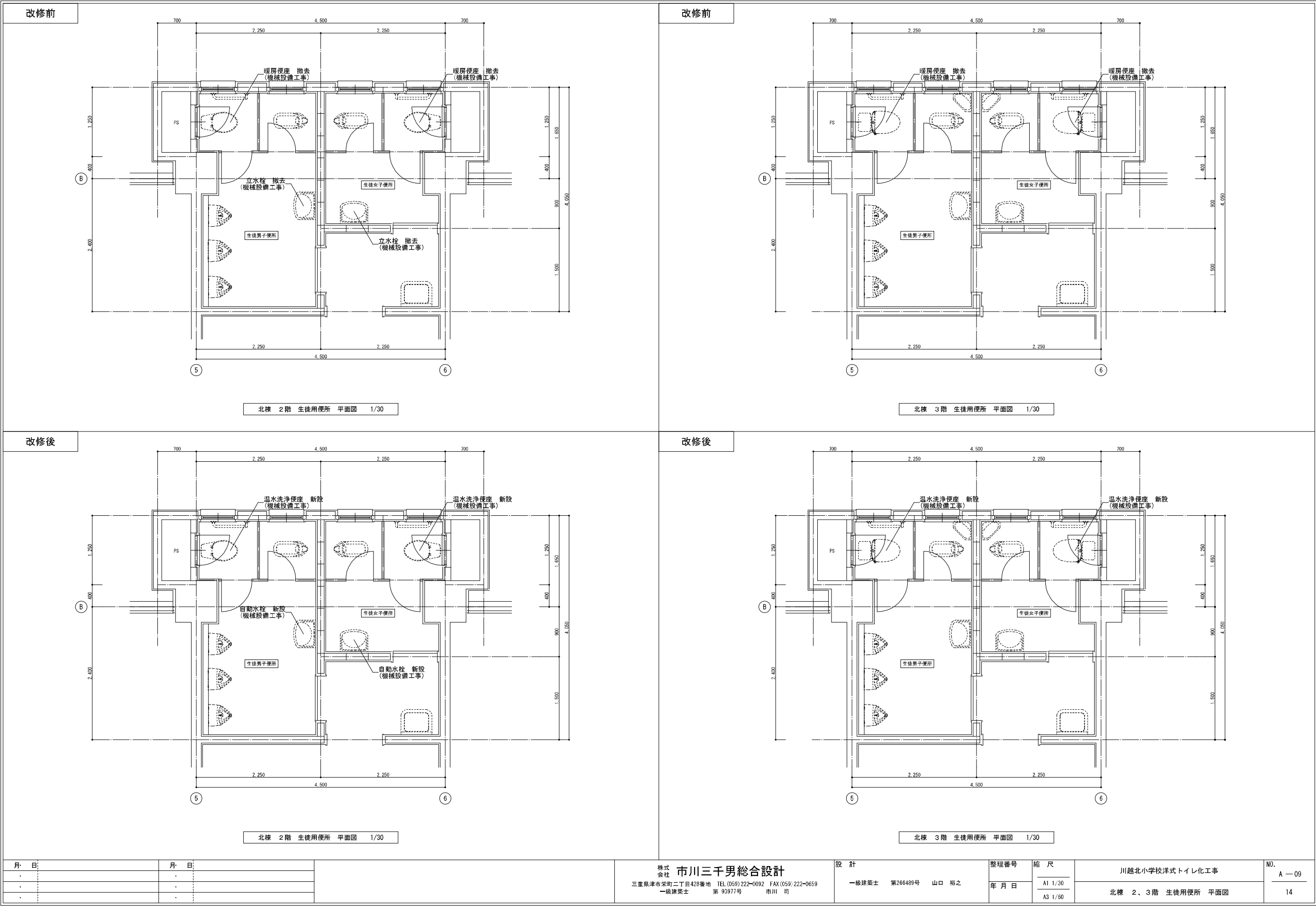
川越北小学校洋式トイレ化工事

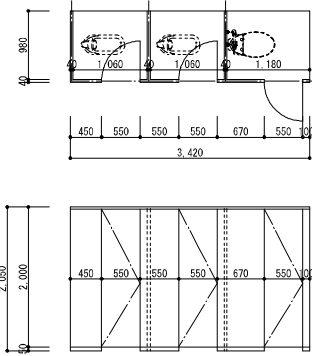
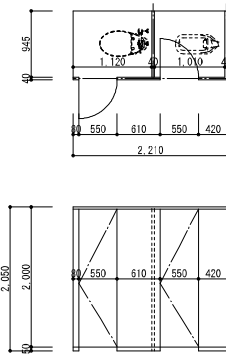
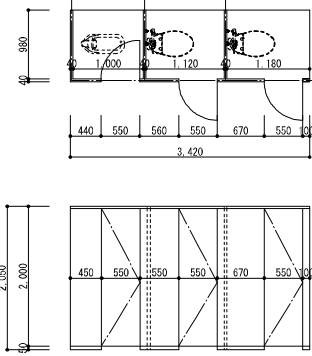
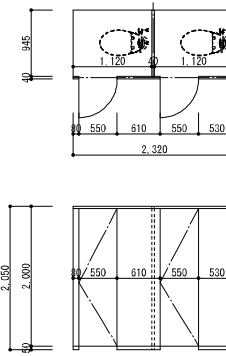
南棟 2階 職員便所 平面図

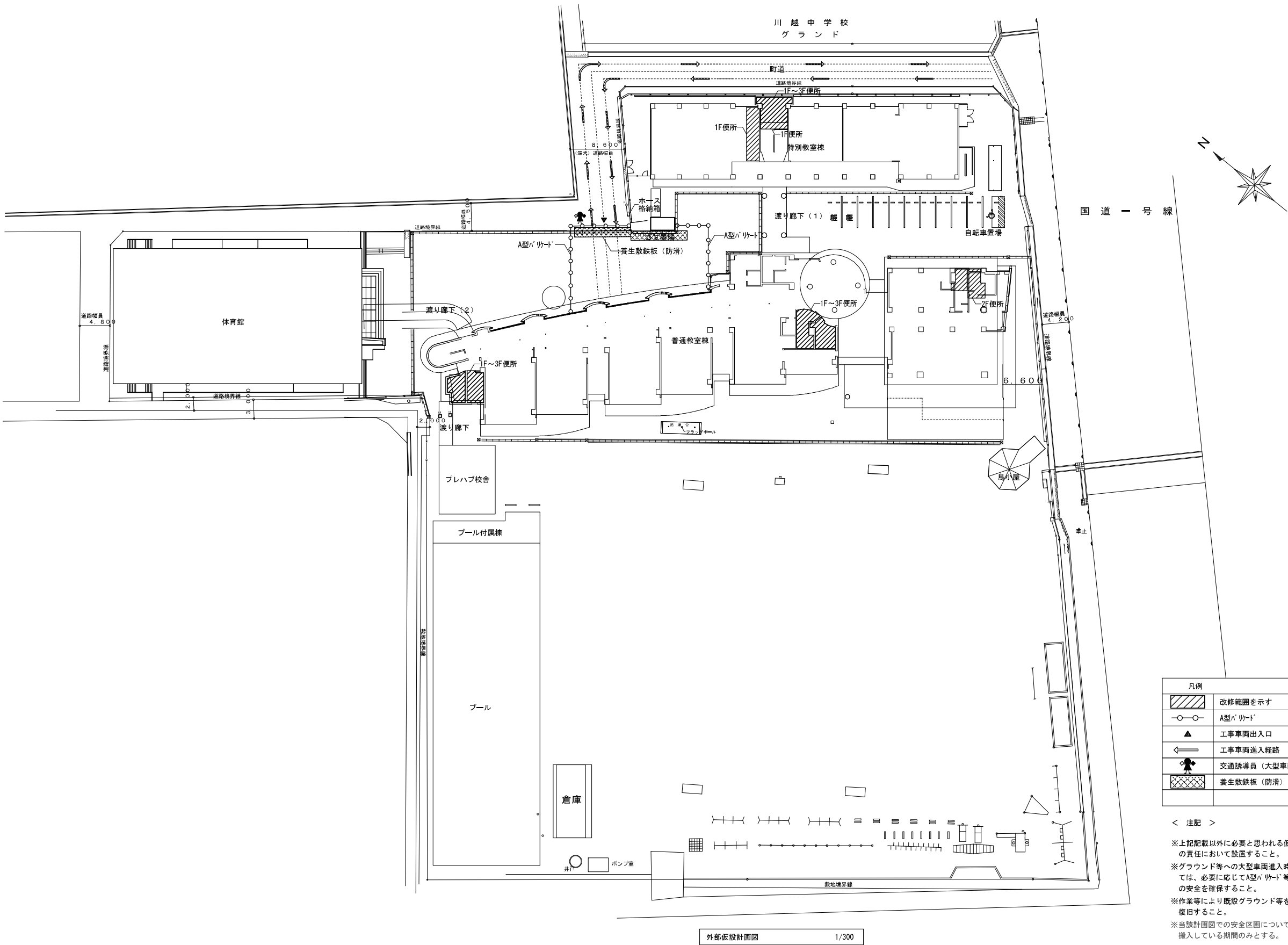
NO.
A — 07
14



月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮尺	川越北小学校洋式トイレ化工事 北棟 1階 生徒用便所 平面図	NO. A-08 14
.	.			年月日	A1 1/30		
.	.				A3 1/60		



建具番号	TB 1 トイレブース		3	TB 2 トイレブース		3						
姿 図												
見込 硝子	40			40								
仕 上	高圧ポリマー樹脂化粧板			高圧ポリマー樹脂化粧板								
金 物	ケレビ「ティーセンジ」、ステンレス笠木、ステンレスフラットエッジ、ステンレス巾木、非常開閉付表示錠、付属金物一式			ケレビ「ティーセンジ」、ステンレス笠木、ステンレスフラットエッジ、ステンレス巾木、非常開閉付表示錠、付属金物一式								
室 名	南棟 1～3階 生徒用西女子便所			南棟 1～3階 生徒用東女子便所								
建具番号	TB 1 トイレブース		3	TB 2 トイレブース		3						
姿 図												
見込 硝子	40			40								
仕 上	高圧ポリマー樹脂化粧板			高圧ポリマー樹脂化粧板								
金 物	ケレビ「ティーセンジ」、ステンレス笠木、ステンレスRエッジ、ステンレス巾木、非常開閉付表示錠、付属金物一式			ケレビ「ティーセンジ」、ステンレス笠木、ステンレスRエッジ、ステンレス巾木、非常開閉付表示錠、付属金物一式								
室 名	南棟 1～3階 生徒用西女子便所			南棟 1～3階 生徒用東女子便所								
建具番号												
姿 図												
見込 硝子												
仕 上												
金 物												
室 名												
月・日	月・日		TB ※ 撤去する建具を示す		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司		設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之		整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事	NO. A — 10
.									年 月 日	A1 1/50	建具表	14
.										A3 1/100		
.												



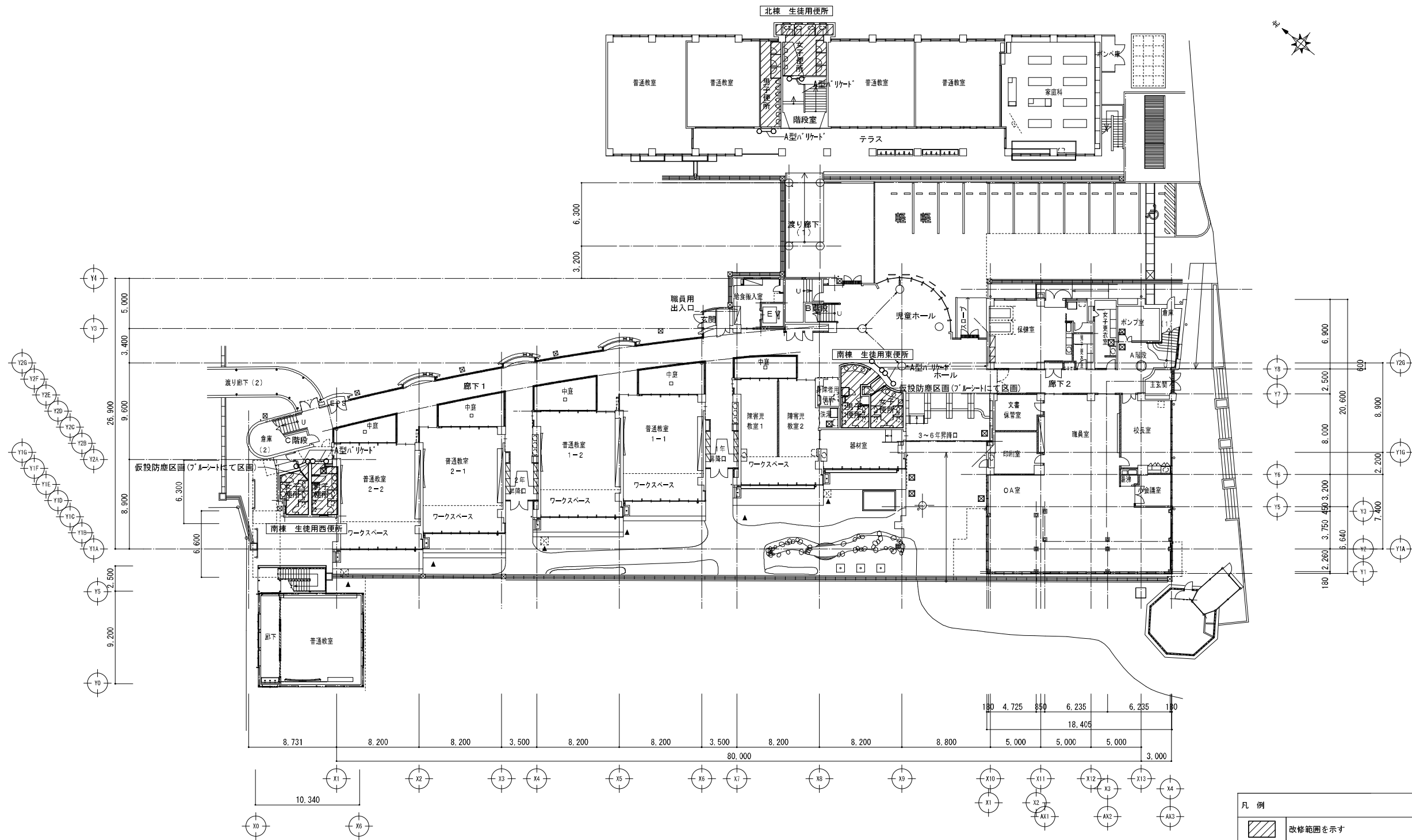
凡例	
	改修範囲を示す
	A型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ
	工事車両出入口
	工事車両進入経路
	交通誘導員（大型車両通行時配置）
	養生敷鉄板（防滑）【27㎡】

< 注 記 >

※上記記載以外に必要なと思われる仮設については 請負者の責任において設置すること。
※グラウンド等への大型車両進入時や資機材運搬時については、必要に応じてA型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ等にて施設利用者や児童の安全を確保すること。
※作業等により既設グラウンド等を乱した場合は速やかに復旧すること。
※当該計画図での安全区画については、大型建設車両が搬入している期間のみとする。

外部仮設計画図 1/300

月・日	月・日	実施期間：1.5ヶ月間予定（夏休み期間中） ・既設ｽﾀﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ撤去後のｽﾀﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ復旧時に於けるｽﾀﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ打設作業等での活用を想定。	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事	N0.
.	.				年 月 日	A1 1/300	外部仮設計画図	A-11
.	.					A3 1/600		14



1階仮設計画平面図 1/200

凡 例

改修範囲を示す

仮設防塵区画
(7ルートにて区画、粉じん対策として送風機にて対応)

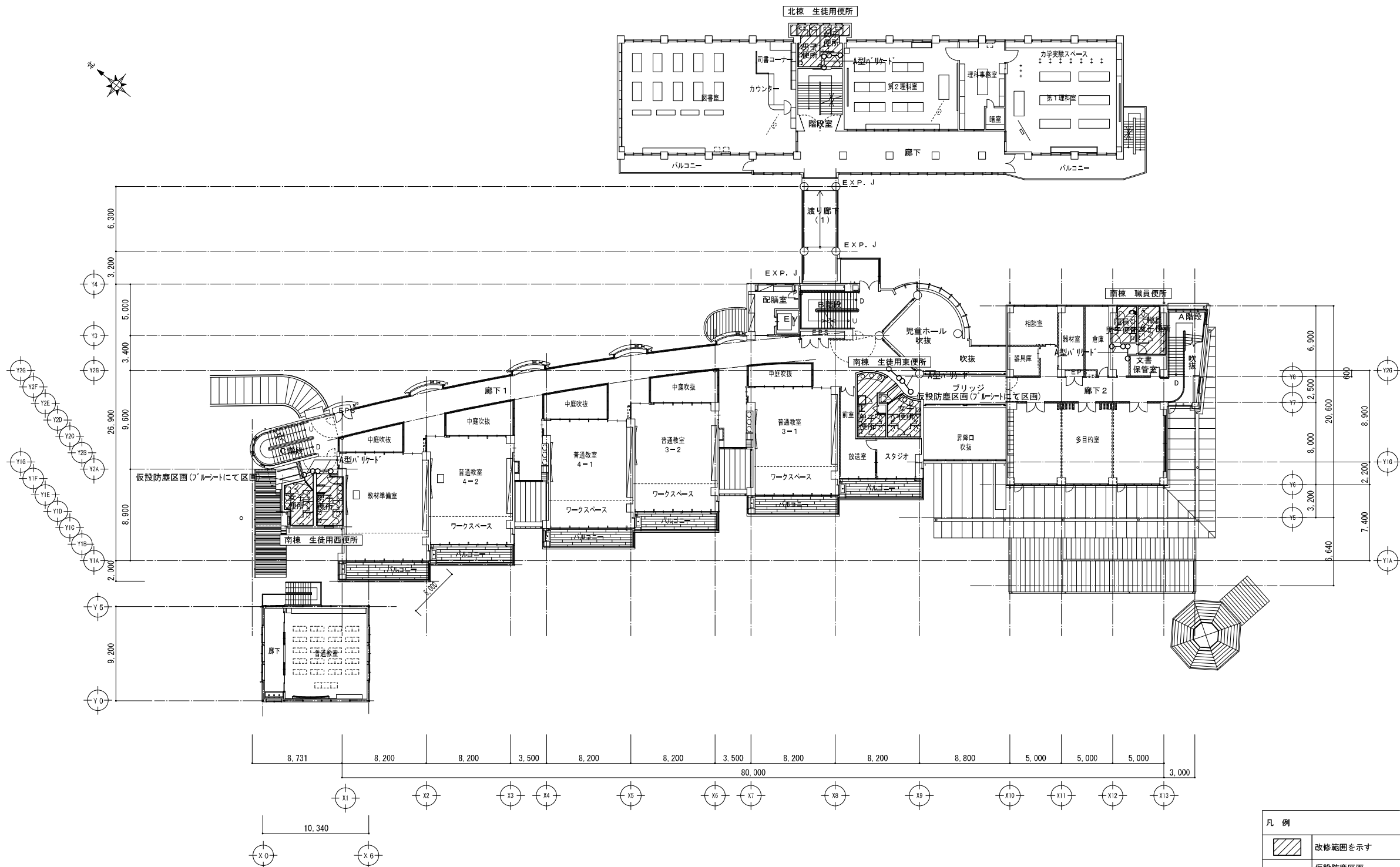
A型バリアード

< 注 記 >

※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる仮設については請負者の責任において適時設置すること。

※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに復旧すること。

月・日	月・日	株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越北小学校洋式トイレ化工事	N0. A-12
.	.					内部仮設計画図(1)	14
.	.						



2階仮設計画平面図 1/200

凡 例

改修範囲を示す

仮設防塵区画
(ﾌﾟﾛｼｰﾄﾞにて区画、粉じん対策として送風機にて対応)

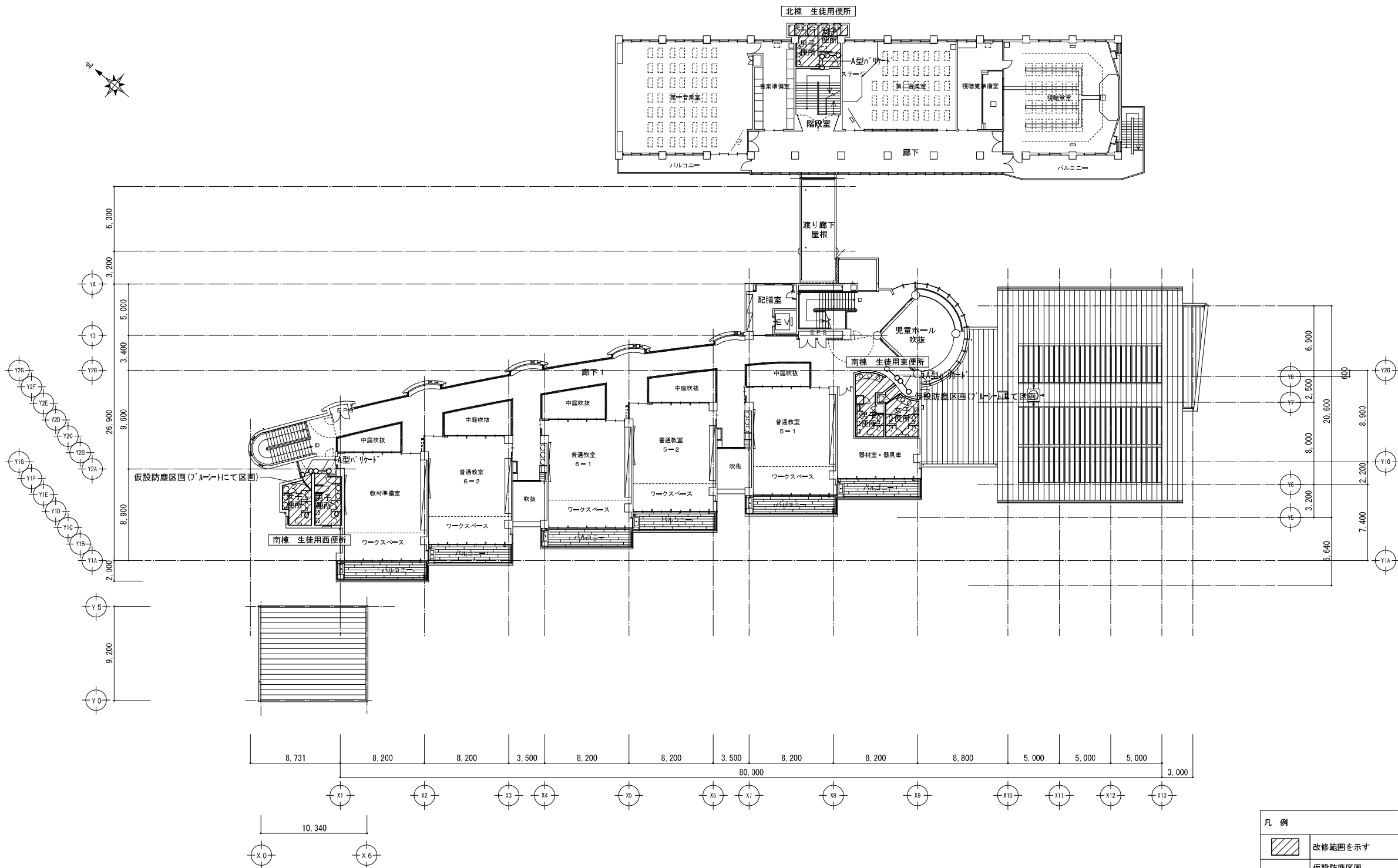
A型ﾊﾞﾘｰﾄﾞ

< 注 記 >

※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる仮設については請負者の責任において適時設置すること。

※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに復旧すること。

月・日	月・日		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号 年 月 日	縮 尺 A1 1/200 A3 1/400	川越北小学校洋式トイレ化工事	N0. A — 13
.	.						内部仮設計画図 (2)	14
.	.							



3階仮設計画平面図 1/200

凡 例

改修範囲を示す

仮設防塵区画
(アールにて区画、粉じん対策として送風機にて対応)

A型パナール

< 注 記 >

※上記記載以外に安全衛生上必要と思われる仮設については請負者の責任において適時設置すること。

※作業等により既設部分に損傷を与えた場合は速やかに復旧すること。

月・日	月・日		株式会社 市川三千男総合設計 三重県津市栄町二丁目428番地 TEL (059) 222-0092 FAX (059) 222-0659 一級建築士 第 93977号 市川 司	設 計 一級建築士 第266489号 山口 裕之	整理番号	縮 尺	川越北小学校洋式トイレ化工事	N0.
.	.				年 月 日	A1 1/200 A3 1/400	内部仮設計画図 (3)	A — 14
.	.							14